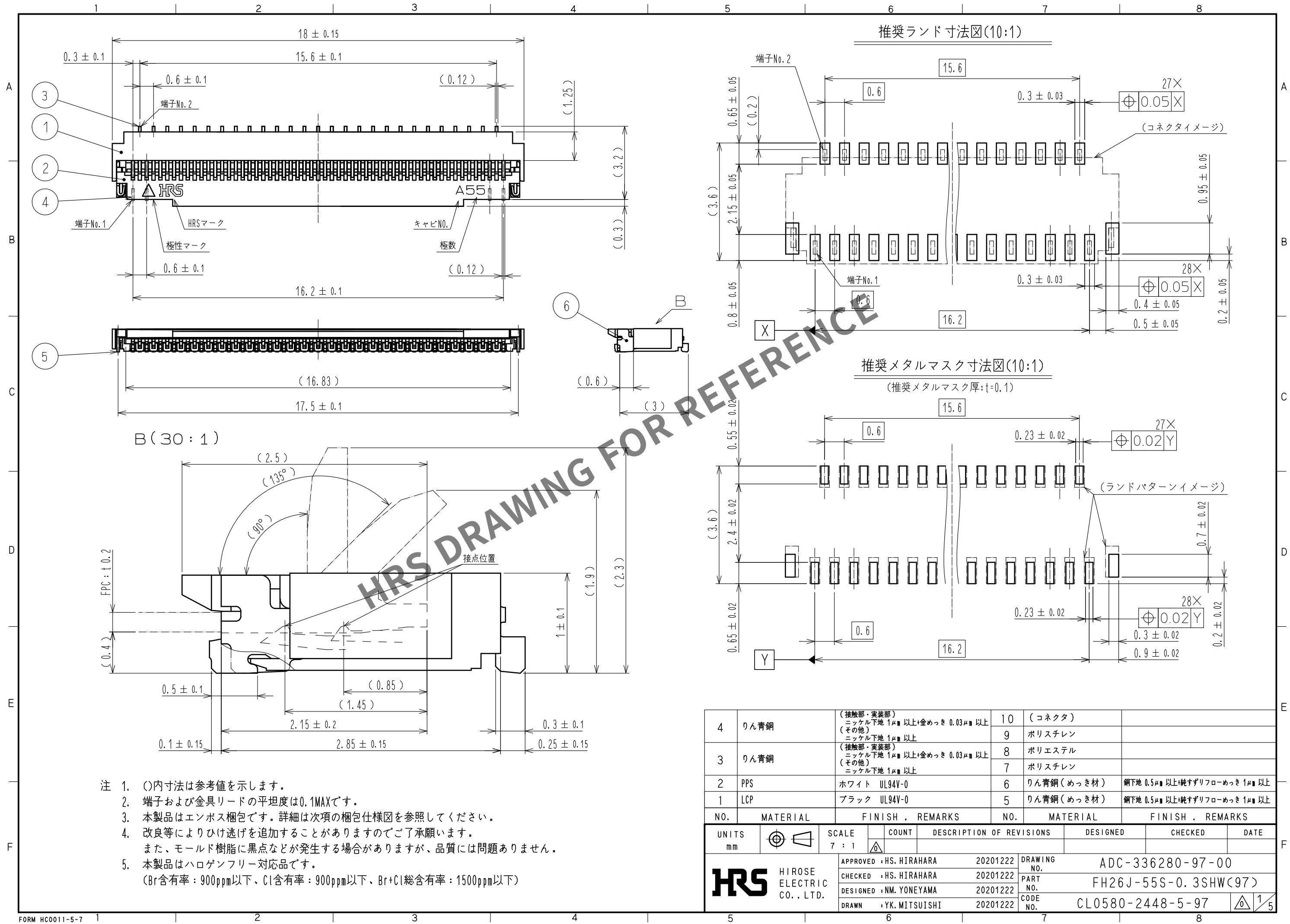


Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

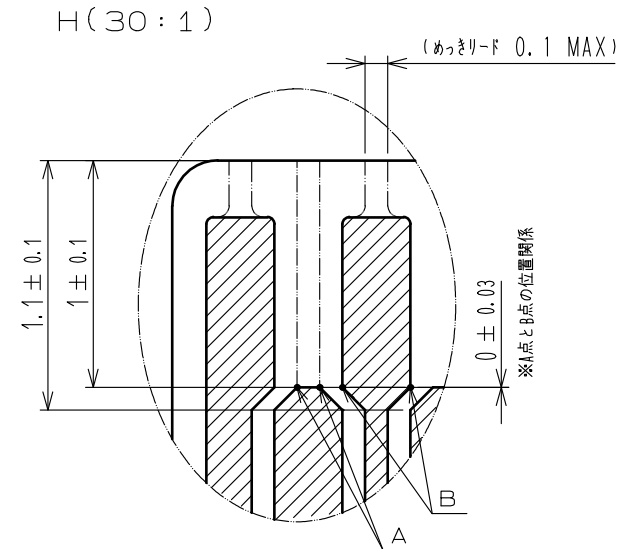
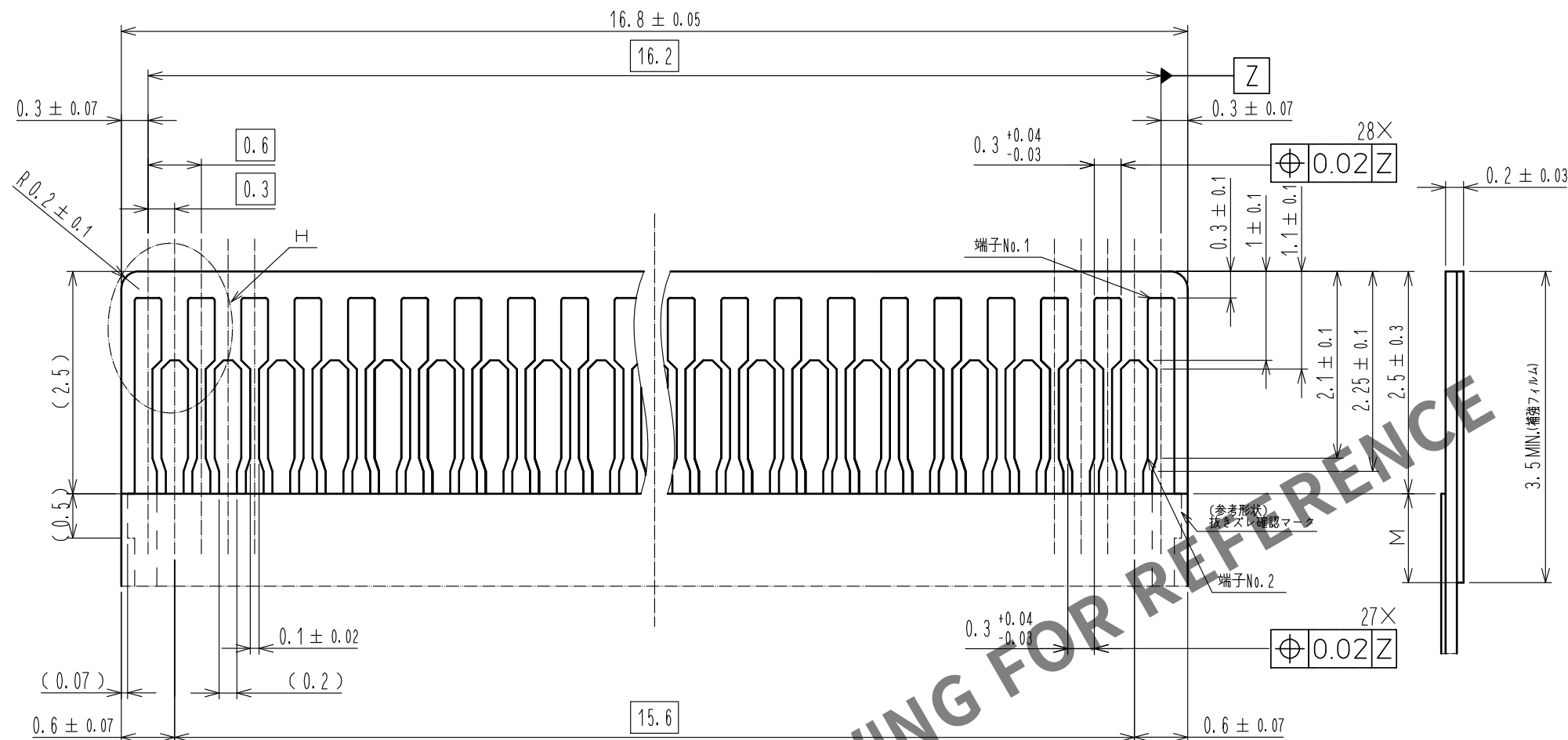


- 注 1. ()内寸法は参考値を示します。
2. 端子および金具リードの平坦度は0.1MAXです。
3. 本製品はエンボス梱包です。詳細は次項の梱包仕様図を参照してください。
4. 改良等によりひけ逃げを追加することがありますのでご了承願います。
また、モールド樹脂に黒点などが発生する場合がありますが、品質には問題ありません。
5. 本製品はハロゲンフリー対応品です。
(Br含有率: 900ppm以下、Cl含有率: 900ppm以下、Br+Cl総含有率: 1500ppm以下)

4	りん青銅	(接触部・実装部) ニッケル下地 1μm 以上+金めっき 0.03μm 以上 (その他) ニッケル下地 1μm 以上	10	(コネクタ)	
3	りん青銅	(接触部・実装部) ニッケル下地 1μm 以上+金めっき 0.03μm 以上 (その他) ニッケル下地 1μm 以上	9	ポリスチレン	
2	PPS	ホワイ UL94V-0	8	ポリエステル	
1	LCP	ブラック UL94V-0	7	ポリスチレン	
6	りん青銅 (めっき材)	銅下地 0.5μm 以上+純スズリフローめっき 1μm 以上			
5	りん青銅 (めっき材)	銅下地 0.5μm 以上+純スズリフローめっき 1μm 以上			
NO.	MATERIAL	FINISH . REMARKS	NO.	MATERIAL	FINISH . REMARKS
UNITS mm		SCALE 7 : 1	COUNT 	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED CHECKED DATE
		APPROVED : HS. HIRAHARA	20201222	DRAWING NO.	ADC-336280-97-00
		CHECKED : HS. HIRAHARA	20201222	PART NO.	FH26J-55S-0.3SHW<97>
		DESIGNED : NM. YONEYAMA	20201222	CODE NO.	CL0580-2448-5-97
		DRAWN : YK. MITSUISHI	20201222		

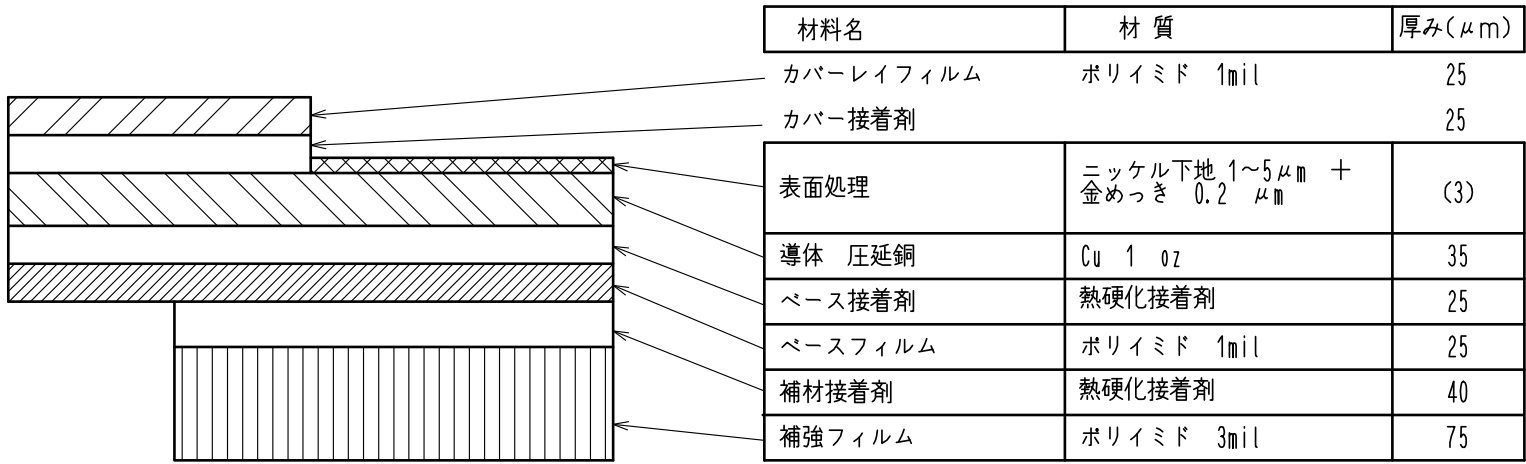
Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

推奨FPC寸法図(FREE)



※FPC設計上、補強フィルム長を3.5mm以上取れない場合は、M寸法を0.5mm以上としてください。

FPC部材構成例 (FREE)



材料名	材質	厚み(μm)
カバーレイフィルム	ポリイミド 1mil	25
カバー接着剤		25
表面処理	ニッケル下地 $1 \sim 5 \mu\text{m}$ + 金めっき $0.2 \mu\text{m}$	(3)
導体 圧延銅	Cu 1 oz	35
ベース接着剤	熱硬化接着剤	25
ベースフィルム	ポリイミド 1mil	25
補材接着剤	熱硬化接着剤	40
補強フィルム	ポリイミド 3mil	75

HRS

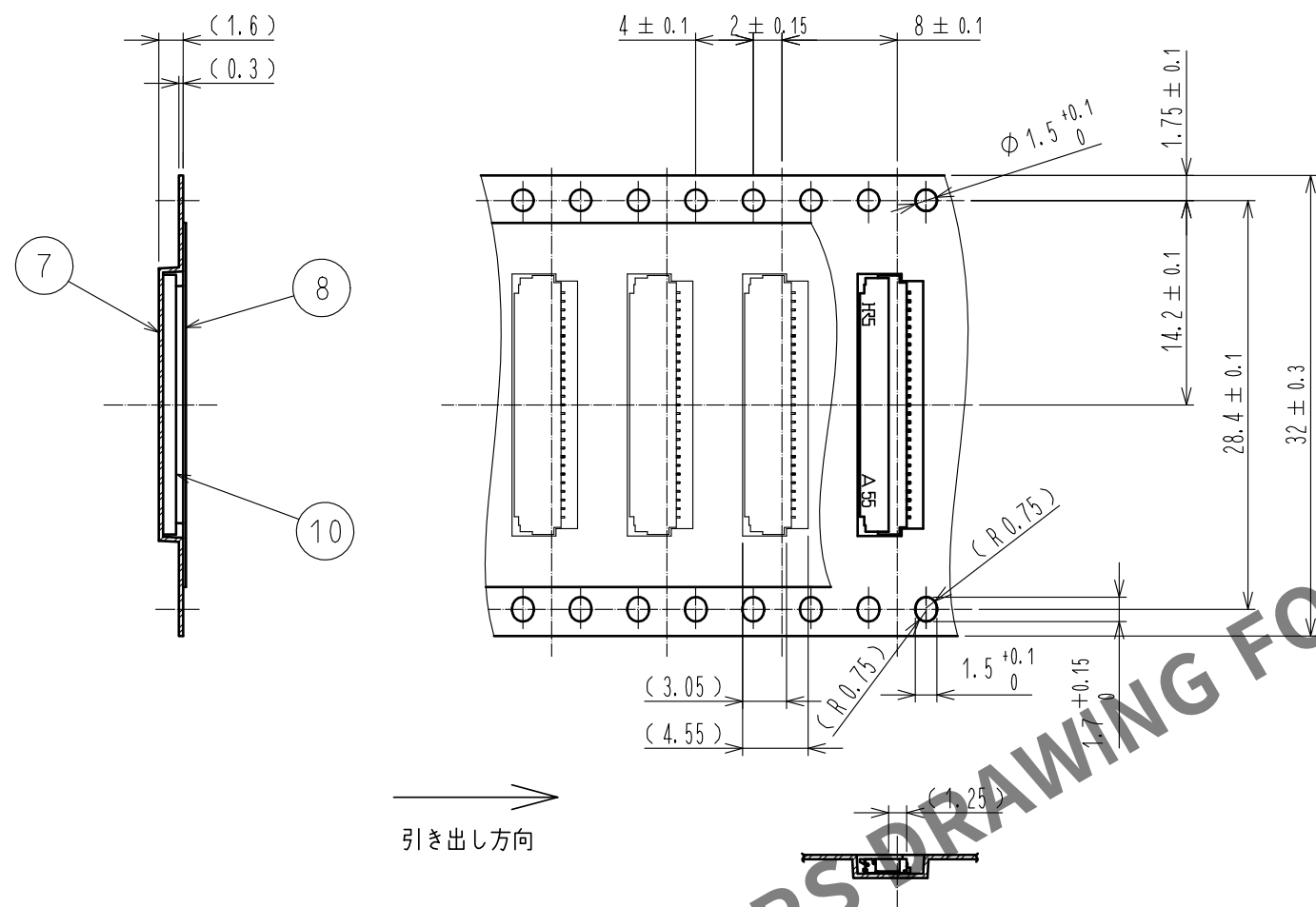
DRAWING NO.	ADC-336280-97-00
PART NO.	FH26J-55S-0.3SHW(97)
CODE NO.	CL0580-2448-5-97

2

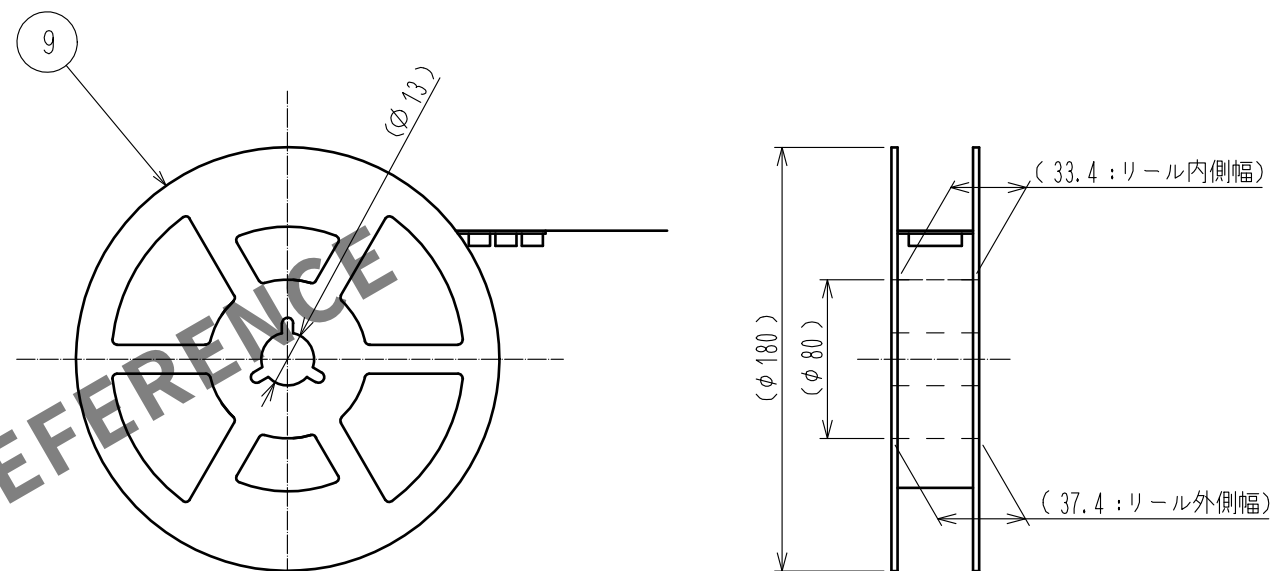
5

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

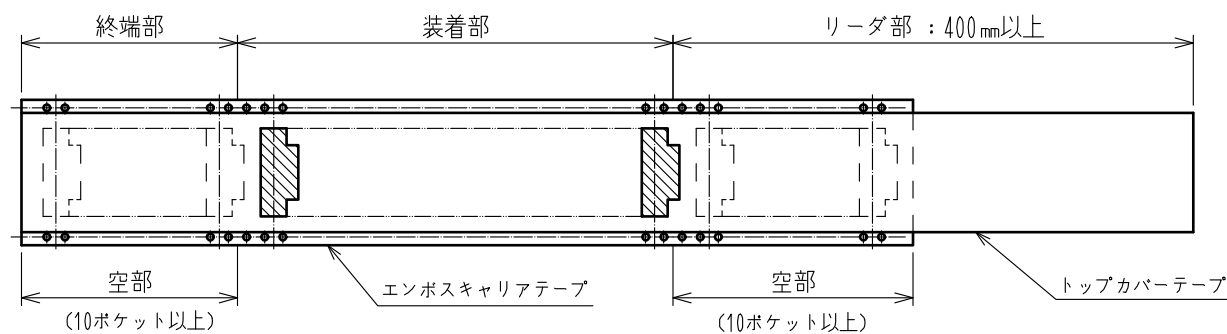
エンボスキャリアテープ寸法図(2:1)



リール状態寸法図 (FREE)



トレーラー寸法 (FREE)



- 注 6. 1リール500個梱包とします。
7. 本梱包は、JIS C 0806 及び IEC 60286-3(自動実装用部品のパッケージング)に準拠しています。

HRS

DRAWING NO.	ADC-336280-97-00
PART NO.	FH26J-55S-0.3SHW(97)
CODE NO.	CL0580-2448-5-97

3/5

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

本コネクタは、小型・薄型製品であり、取扱いについて注意が必要です。以下の内容をご確認の上、ご使用ください。なお、注意書きに記載されている各値は、製品の規格値とは異なります。

【基板実装時のご注意】

◆基板の反り量について

基板の反り量は極力抑えるようにしてください。
本コネクタの平坦度は0.1mm以下ですが、
反り量が大きいとはんだ付け不良となることがあります。

◆フレキシ基板の仕様について

フレキシ基板を使用する場合は、必ず補強板を設け、取り扱い易いものにしてください。
補強板は、ガラスエポキシ材で厚さ0.3mm以上を推奨致します。

◆コネクタへの負荷について

エンボスをリールから引き出す際や、エンボスからコネクタを吸着する際など、実装前のコネクタに過度な外力が加わらないようにしてください(0.5N以下)。コネクタが破損する可能性があります。
また、実装前にFPCを挿入したり、コネクタの操作をしないでください。

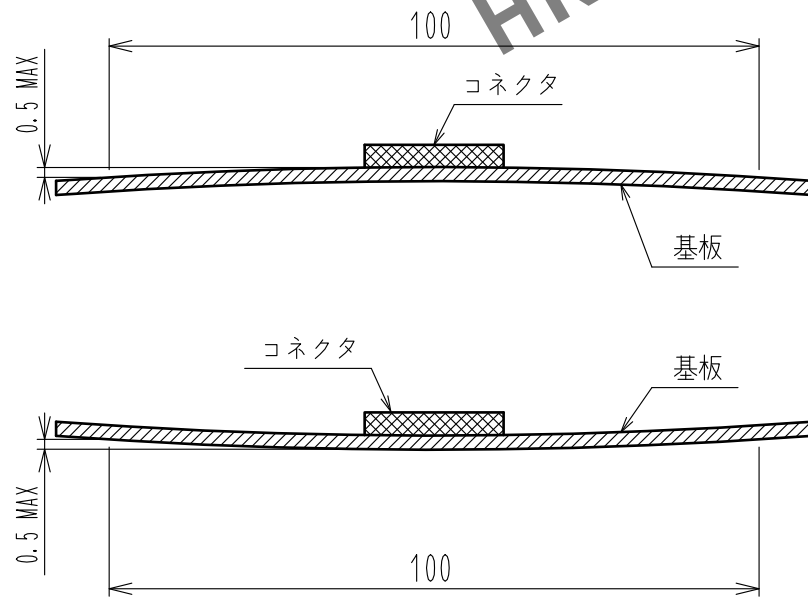
【実装後の基板取扱い時のご注意】

◆基板への負荷について

・多数取りの基板を割る
・基板をネジ留めする
など、アセンブリ工程で基板に負荷が加わらないように注意してください。
コネクタが破損する可能性があります。

◆基板のたわみについて

基板幅100mmにおいて、基板のたわみが0.5mm以下の条件でご使用ください。(下図)
基板がたわむことによって、コネクタに負荷が加わり、破損する可能性があります。

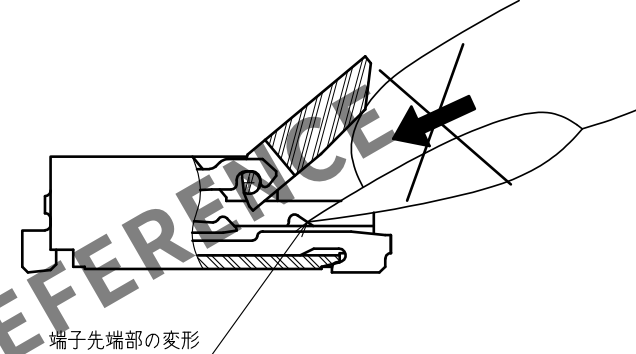


【FPC挿入・嵌合時のご注意】

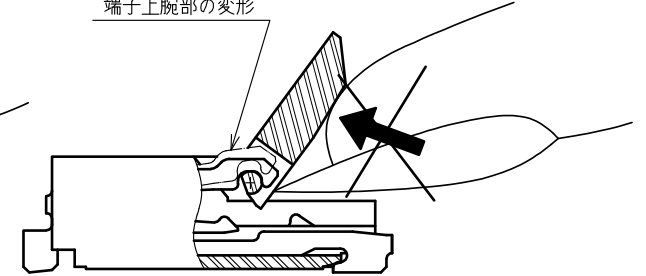
◆アクチュエータの操作について

①初期状態からアクチュエータを開放する際は、過度の力が加わらないように注意して下さい。
また、下図のように爪や指などを奥に入れたり、端子に引っ掛けたりすると端子変形の可能性があります。

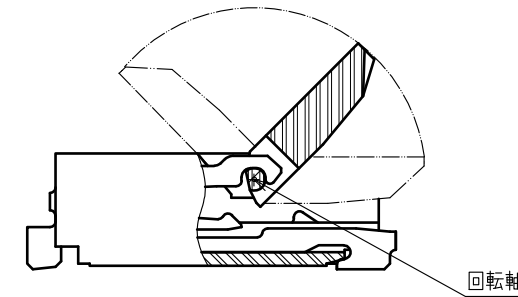
例1)



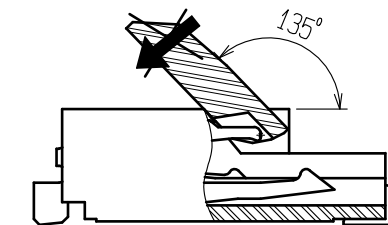
例2)



②アクチュエータは回転軸を中心に回転しますので、回転動作させるように操作してください。



③アクチュエータは135°以上開かない構造となっていますので、それ以上後方に力を加えないでください。
アクチュエータが外れたり、破損することがあります。

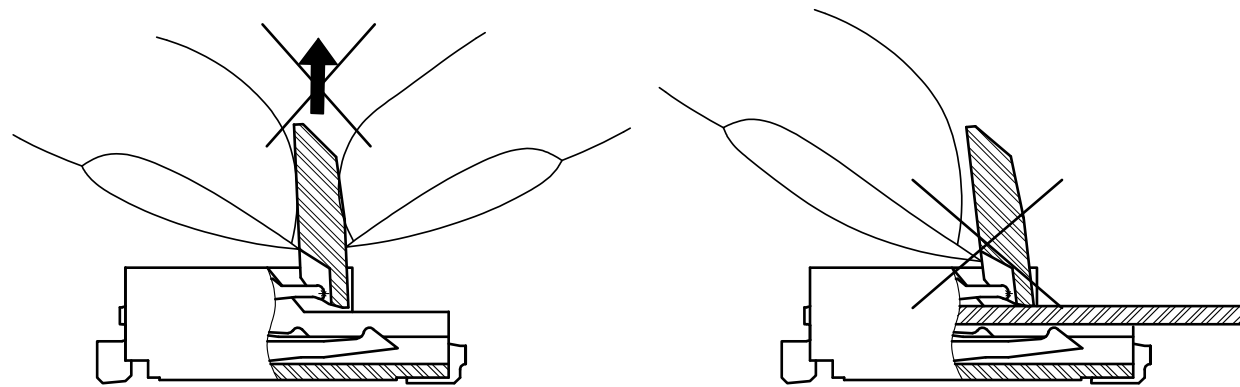


HRS

DRAWING NO.	ADC-336280-97-00
PART NO.	FH26J-55S-0.3SHW(97)
CODE NO.	CL0580-2448-5-97

4/5

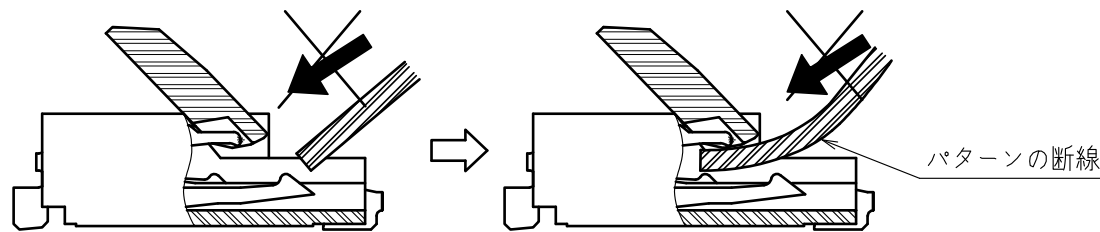
- ④アクチュエーターを動作する際には、中央付近で行ってください。
⑤アクチュエータを摘んで上に持ち上げたり、引っ掛けたりしないでください。
破損の原因となることがあります。（前述の②の回転動作以外の操作を行わないでください）



- ◆接点方向について
本コネクタは下接点コネクタのため、FPCの導体露出面は下にして挿入してください。

- ◆FPCの挿入について
①FPCは基板面に対して水平にかつ、コネクタに対して垂直に入れるようにし、奥まで確実に挿入してください。
FPCを斜めに挿入すると、ピッチずれによりショート不良となったり、FPCの角が端子に引っ掛かり端子を変形させる原因となることがあります。
また、本コネクタはZIF構造であり、有効嵌合長も0.35mm(弊社推奨FPCノミナル寸法時)でありますので、FPC挿入後もFPCが抜けないように注意してアクチュエータ動作を行ってください。

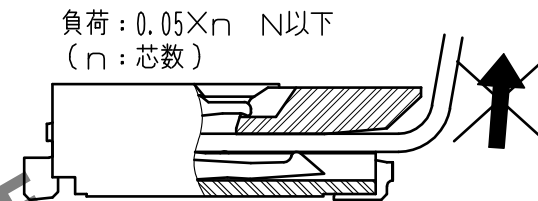
- ②FPCを著しく斜め上方向から挿入しないでください。
FPC挿入工程で著しく斜め上方向から入れた場合、FPCが屈折しパターンが断線したり、FPCが十分に挿入されず、導通不良の原因になることがあります。
※FPCが斜め挿入にならないように、レイアウト時にFPC挿入スペースを確保できるよう配慮をお願いします。
また、FPCが短すぎても挿入が難しくなりますので、適切な部品レイアウトをお願い致します。
※FPCの屈曲性、断線については、FPCメーカー様と擦り合わせをお願い致します。



- ◆ロック状態の確認
ロック時には、アクチュエータが基板面に対して水平になったことを確認してください。
ただし、アクチュエータが0°付近になりましたら、過度な負荷がかからないようにしてください。
端子変形の原因となる場合があります（1N以下）。

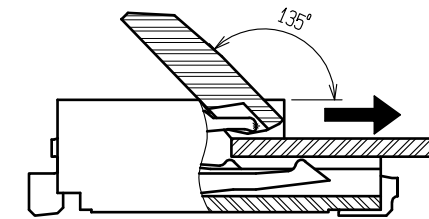
【FPC嵌合後のFPC引き回しのご注意】

- ◆FPCへの負荷について
FPC装着後、FPCに負荷が加わらないように注意して下さい。コネクタのロックが解除されたり、FPCの断線・破損の原因になります。特に、FPCに連続的に負荷が加わる場合は、FPCを固定するようにしてください。
また、FPC引き回しにつきましても、FPC挿入口付近から急激に屈曲しないよう注意してください。



【FPC抜去時のご注意】

- ◆FPCを引き抜く場合は、アクチュエータを解除した状態で抜いてください。



【その他のご注意】

- ◆手はんだの注意点
リペアーなど手はんだを行う際は、下記にご注意ください。
①コネクタにFPCを挿入した状態で、リフロー、手はんだを行わないでください。
②過度の熱を加えたり、はんだこてがコネクタのリード以外に触れないようにご注意ください。
コネクタが変形したり、溶ける原因になります。
③過去のはんだ(フラックス)は供給しないでください。
端子にはんだ(フラックス)を供給しすぎると、はんだやフラックスが接点やアクチュエータの回転軸に付着し、接触不良やアクチュエータの回転動作不良の原因になります。
また、補強金具にもはんだを供給しすぎると、アクチュエータの回転動作に支障が出てコネクタ破損の原因になります。